

7 災害対策

(1) 主な自然災害による農業被害

- 近年、自然災害により農林水産業に大きな被害が発生しており、農林水産被害額は、特に豪雨や台風等の風水害によるものが増加傾向にあります。
- 農林水産省としては、災害発生に際して、人命第一を優先させるとともに、早急に農業被害を把握することとしており、近畿農政局では近畿各府県、各地方拠点と連携して被害状況を情報収集し、密接に連携して対応しています。
- 令和6～7年災害においては、近畿でも令和6年3月及び令和7年4月の降ひょう、令和6年8月の台風第10号により、農作物や農業用ハウスの損壊などの農業被害が見られました。

1. 令和6年3月20日及び令和7年4月6～15日の降ひょうに係る農林水産関係の被害状況

令和6年3月20日及び令和7年4月6～15日に強い寒気が流れ込み、大気の状態が不安定となり、和歌山県で降ったひょうにより、うめの傷果等の農作物の被害が発生しました。



ひょうの状況



降ひょうによるうめの傷果被害

2. 令和6年台風第10号に係る農林水産関係の被害状況

令和6年8月27日から9月1日にかけて台風第10号や暖かく湿った空気の影響が続いたため、西日本から東日本の太平洋側を中心に記録的な大雨となりました。また、発達した積乱雲により、突風の被害が西日本から東日本にかけて発生しました。近畿では8月29日に大雨となり、強風や冠水等による農業用ハウスの破損の他、農作物等の被害が発生しました。

令和6年台風第10号に係る農林水産関係の被害状況

単位:億円

主な被害	被害額(近畿)	被害額(全国)
農作物等	0.01	19.7
樹体	—	0.4
家畜	—	0.5
畜産物(生乳)	—	0.0
農業用ハウス	0.008	9.3
農業用倉庫・処理加工施設	—	0.6
畜産用施設	—	4.6
共同利用施設	—	1.4
農業・畜産用機械	—	0.4
その他	0.005	0.4
農作物等被害額計	0.02	37.2
農地・農業用施設関係	4.80	190.6
被害額合計	4.82	227.8



強風による稲の倒伏被害

(2) 災害リスクから農業・農村を守る防災・減災、国土強靱化

- 頻発する豪雨、地震等の災害に対応し、安定した農業経営や農村の安全・安心な暮らしを実現するため、令和2年12月に閣議決定された「防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策」に基づき、「流域治水対策(農業水利施設の整備、水田の貯留機能向上)」、「防災重点農業用ため池の防災・減災対策」、「農業水利施設等の老朽化、豪雨・地震対策」等に取り組んでいます。
- 「防災重点農業用ため池に係る防災工事等の推進に関する特別措置法」に基づき、府県知事は「防災重点農業用ため池」を指定するとともに、防災工事等を集中的・計画的に進めるための防災工事等推進計画を策定しています。令和7年3月末時点で近畿の防災重点農業用ため池は12,394箇所となっています。(図表-1)



平成30年7月豪雨で決壊したため池(京都府塩津古池)

図表-1 農業用ため池数と防災重点農業用ため池数

区 分	農業用ため池数 (令和7年3月末時点)		防災重点農業用ため池数 (令和7年3月末時点)	
	箇所数	割合%	箇所数	割合%
滋 賀	1,425	1.0	466	0.9
京 都	1,507	1.0	614	1.2
大 阪	3,529	2.4	2,352	4.5
兵 庫	21,357	14.3	6,121	11.7
奈 良	4,046	2.7	964	1.8
和 歌 山	4,700	3.1	1,877	3.6
近 畿	36,564	24.5	12,394	23.7
全 国	149,417	100.0	52,380	100.0

